

2008年 10月 1日

各 位

株式会社キョーリン  
東京都千代田区神田駿河台2-5  
(証券コード 4569 東証一部)

## 潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤 「ペンタサ®錠500」の新発売について

株式会社キョーリンの子会社である杏林製薬株式会社(本社:東京都、社長:古城格)は、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ®錠500(一般名:メサラジン)」を本日、新発売(剤形追加)いたしました。

杏林製薬(株)と日清キョーリン製薬(株)は、1996年7月より「ペンタサ®錠250」を並行販売し、潰瘍性大腸炎・クローン病の治療に貢献してまいりました。

「ペンタサ®錠500」は、1日服用錠数を減らすことによる患者負担の軽減、アドヒアランス\*並びにQOLの改善を目的に開発した薬剤です。また、剤形は円形錠である「ペンタサ®錠250」と識別するため、カプセル型の変形錠といたしました。

炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎及びクローン病)は、下痢や下血を頻回に生じ、社会生活に支障をきたすおそれのある難治性疾患です。その病因は特定されておらず根本的治療法が無く、ペンタサなどのメサラジン製剤やステロイド製剤等により、活動期症状を抑え、寛解に導入すること及び寛解状態を維持することが治療目標となっています。

杏林製薬(株)は、2008年10月1日に日清キョーリン製薬(株)を吸収合併しました。今後は、杏林製薬(株)が「ペンタサ®錠250」「ペンタサ®注腸1g」に加えて「ペンタサ®錠500」を販売するとともに周辺情報も含め最新の情報を提供することにより、炎症性腸疾患の治療に一層貢献してまいります。

以 上

※アドヒアランス：医師や薬剤師などから指示されたことに従うというよりも、患者自身が責任を持って治療法を守るという考え方。

この件に関するお問合せ先 株式会社キョーリン 経営企画部 TEL：03-3293-3414 FAX：03-3293-3454
---

<製品概要>

1. 製品名	ペンタサ®錠500 (PENTASA® Tablets 500)	ペンタサ®錠250 (PENTASA® Tablets 250)
2. 一般名	メサラジン (Mesalazine)	メサラジン (Mesalazine)
3. 効能・効果	潰瘍性大腸炎(重症を除く)、クローン病	潰瘍性大腸炎(重症を除く)、クローン病
4. 用法・用量	<p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt; 通常、成人にはメサラジンとして1日1500mgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2250mgを上限とする。</p> <p>通常、小児にはメサラジンとして1日30～60mg/kgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2250mgを上限とする。</p> <p>&lt;クローン病&gt; 通常、成人にはメサラジンとして1日1500mg～3000mgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。</p> <p>通常、小児にはメサラジンとして1日40～60mg/kgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>	<p>&lt;潰瘍性大腸炎&gt; 通常、成人にはメサラジンとして1日1500mgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2250mgを上限とする。</p> <p>通常、小児にはメサラジンとして1日30～60mg/kgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日2250mgを上限とする。</p> <p>&lt;クローン病&gt; 通常、成人にはメサラジンとして1日1500mg～3000mgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。</p> <p>通常、小児にはメサラジンとして1日40～60mg/kgを3回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>
5. 薬価	1錠 118.80円	1錠 59.40円
6. 包装	PTP包装 100錠	PTP包装 100錠、500錠

ご参考

1. 製品名	ペンタサ®注腸1g (PENTASA® Enema 1g)
2. 効能・効果	潰瘍性大腸炎(重症を除く)
3. 用法・用量	通常、成人には1日1個(メサラジンとして1g)を、直腸内注入する。なお、年齢、症状により適宜減量する。
4. 薬価	1g1個 872.90円
5. 包装	100mL×7